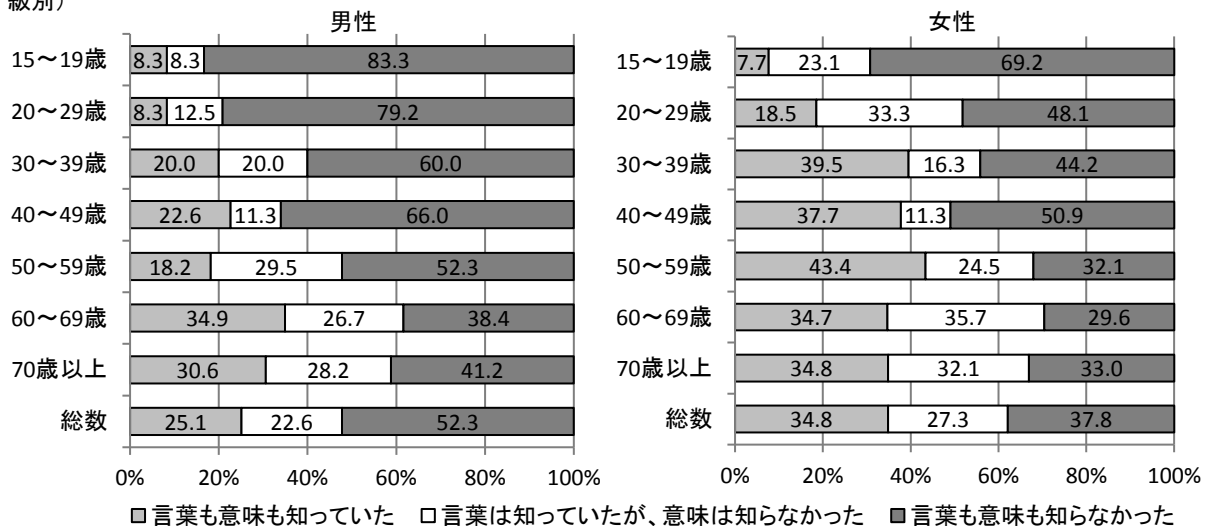


## 7) 糖尿病

### (1) ヘモグロビン A1c (エーワンシー) の知識

ヘモグロビン A1c (エーワンシー) の言葉も意味も知っている者は、男性 25.1%、女性 34.8% である。男性の 60 歳代以上、女性の 30 歳代以上で 30% を超えているが、15~19 歳及び 20 歳代の割合が低い。

図 2-4-66 「ヘモグロビン A1c (エーワンシー)」という言葉や意味を知っていたか (15 歳以上、性別・年齢階級別)

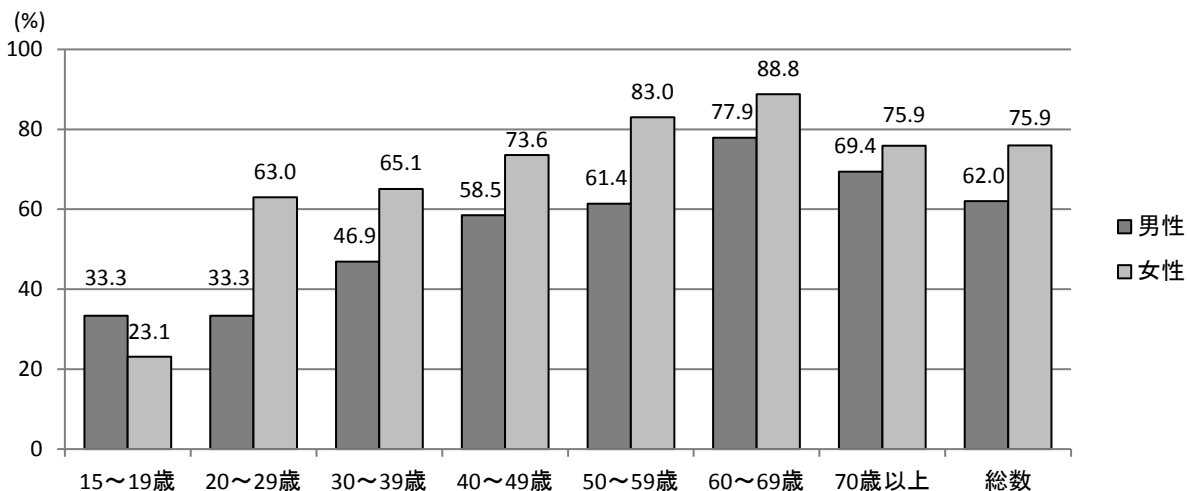


注) ヘモグロビン A1c とは、赤血球の中で体内に酸素を運ぶ役目のヘモグロビンと血液中のブドウ糖が結合したもので、糖化ヘモグロビンともいい、血糖値が高い状態が続くとヘモグロビン A1c の値は上がり、血糖値が低い状態が続くと下がる。過去 1~2 か月の血糖値の状態が分かるため、糖尿病の診断に用いられる。

### (2) 糖尿病早期発見のための健診の重要性に関する知識

糖尿病における健診の重要性を知っている者は、男性 62.0%、女性 75.9% である。全体的に女性が高いが、15~19 歳、男性の 20 歳代及び 30 歳代が低い。

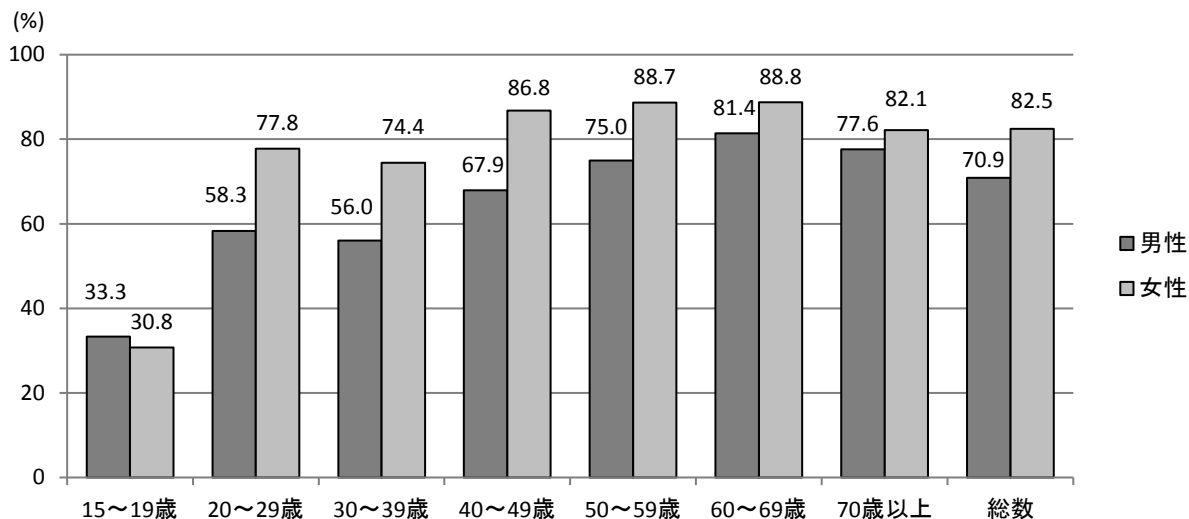
図 2-4-67 健診を受けることで糖尿病の早期発見・早期治療につながることを知っていた者の割合 (15 歳以上、性別・年齢階級別)



### (3) 望ましい食習慣と運動習慣で糖尿病が予防できることについて

望ましい食習慣と運動習慣で糖尿病が予防できることを知っている者は、男性 70.9%、女性 82.5%である。女性の割合が高いが、男女とも 15～19 歳では 30%程度と低い。

図 2-4-68 望ましい食習慣と運動習慣で、糖尿病の発症及び重症化が予防できることを知っていた者の割合（15歳以上、性別・年齢階級別）

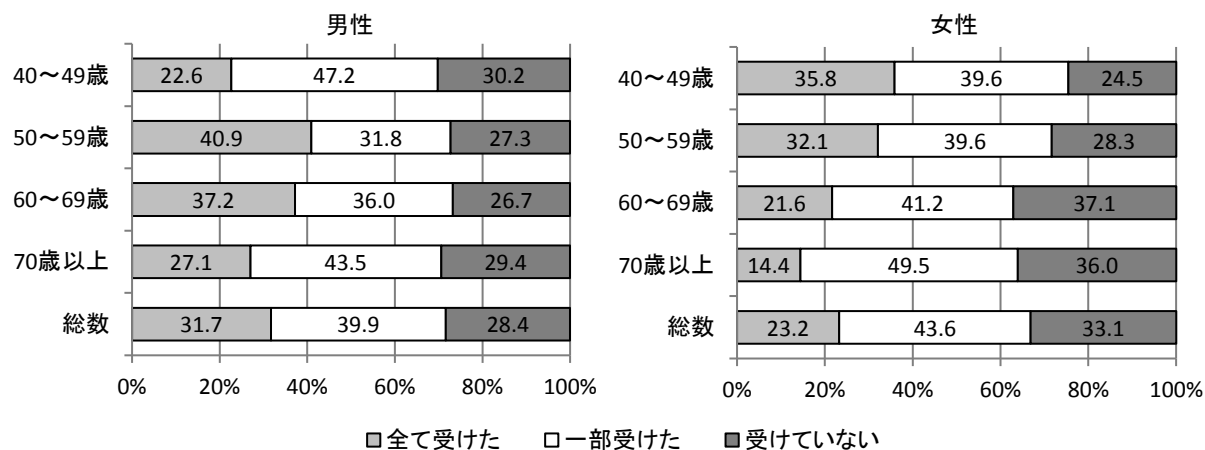


## 8) がん検診

### (1) がん検診の受診状況

がん検診を全く受けていない者は、男性 28.4%、女性 33.1%である。男性は年代による大きな差はないが、女性では 60 歳代以上で割合が高い。

図 2-4-69 ここ 1 年間にがん検診（胃、大腸、肺）【女性の場合、ここ 1～2 年間での乳がん・子宮がん検診を含む】を受けたか（40 歳以上、性別・年齢階級別）



## (2) がん検診の受診理由

がん検診の受診理由は、「市町から受診券等の送付があったから」が最も多く、次いで「がんにかかりたくないため、受診可能な検診は受けておきたいと考えているから」、「勤務先の人間ドックの項目に入っているから」となっている。40歳代及び50歳代では「会社から勧められたから」、「勤務先の人間ドックの項目に入っているから」が、60歳代以上では「市町からの受診券等の送付があったから」等が特徴的である。

図 2-4-70 がん検診の受診理由（40歳以上、総数、がん検診を受診したと回答した者のみ、複数回答）

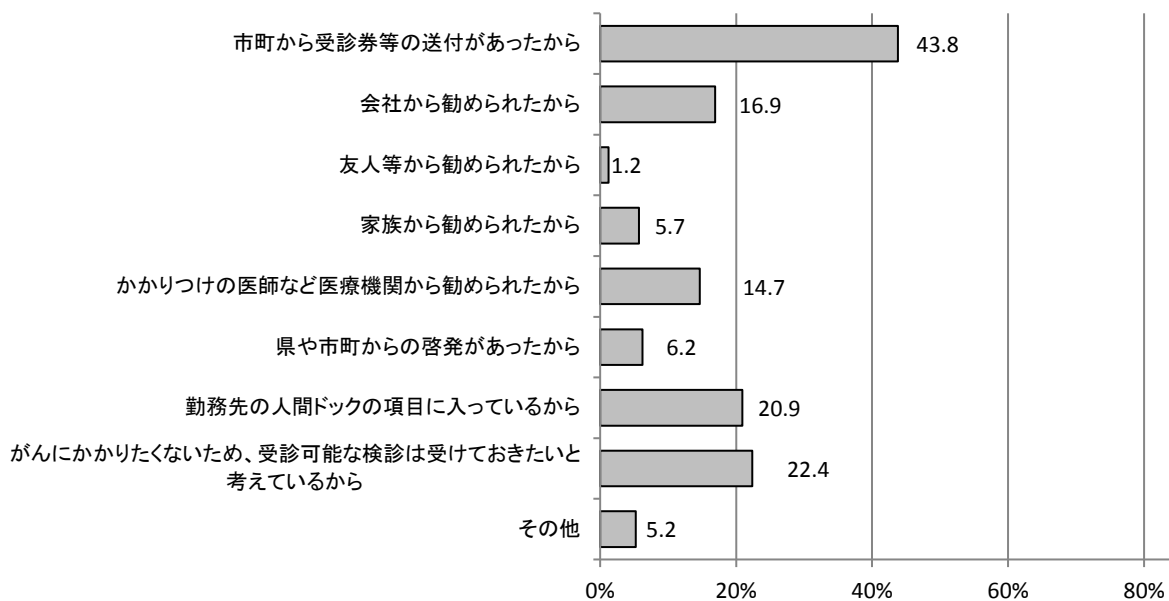
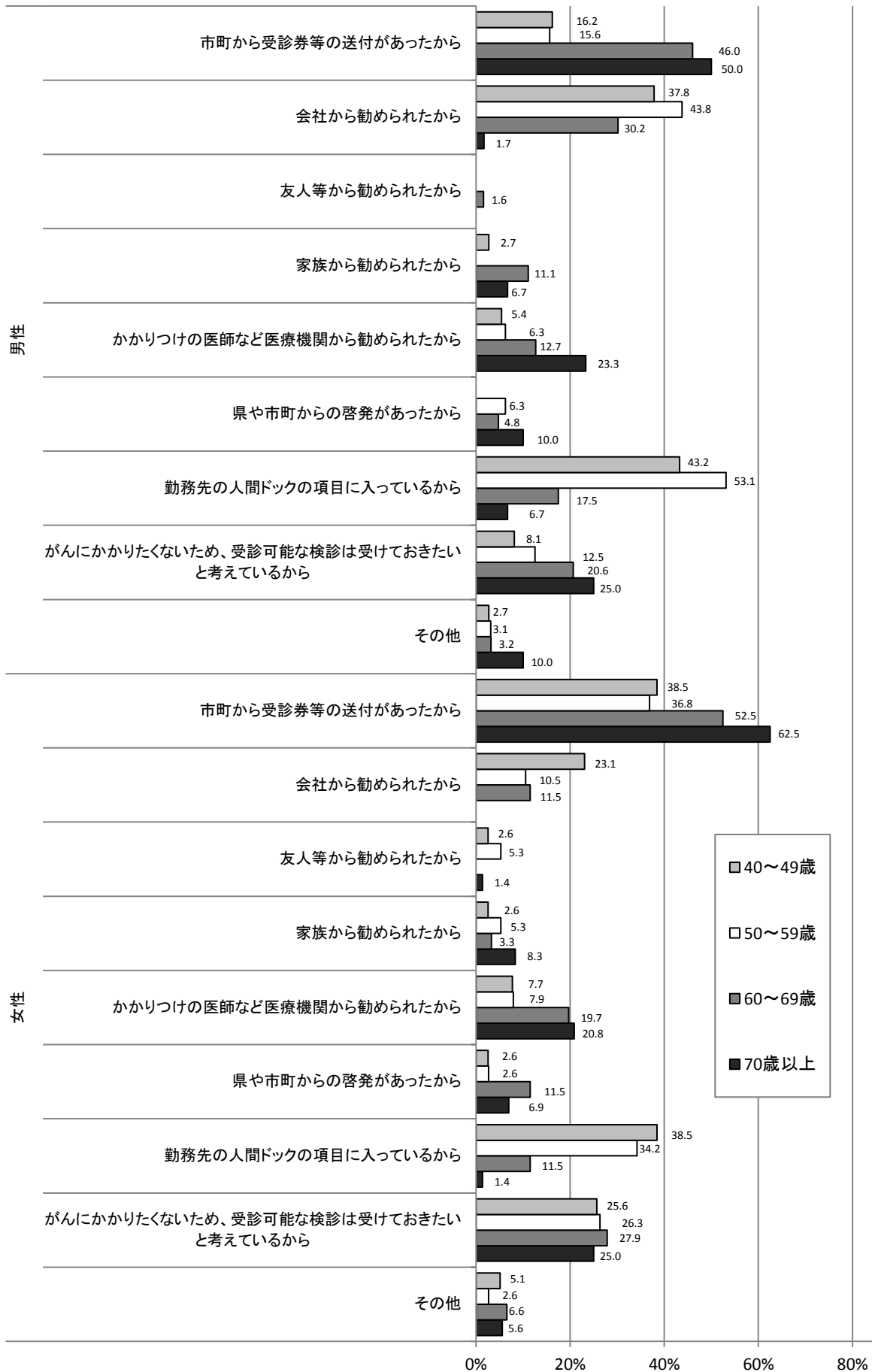


図 2-4-71 がん検診の受診理由（40歳以上、性別・年齢階級別、がん検診を受診したと回答した者のみ、複数回答）



### (3) がん検診未受診の理由

がん検診の未受診理由は、「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」が最も多く、次いで「受ける時間がないから」となっている。男女とも40歳代及び50歳代では「受ける時間がないから」、50歳代以上では「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」の回答が多い。

図 2-4-72 がん検診未受診の理由（総数・40歳以上、がん検診を受診していないと回答した者のみ、複数回答）

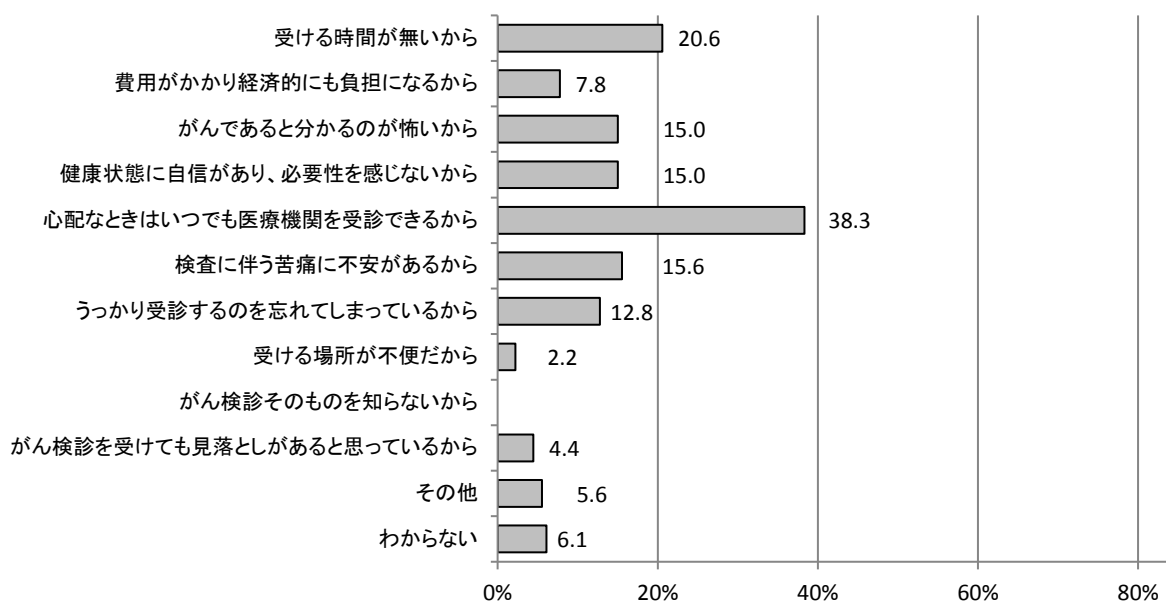
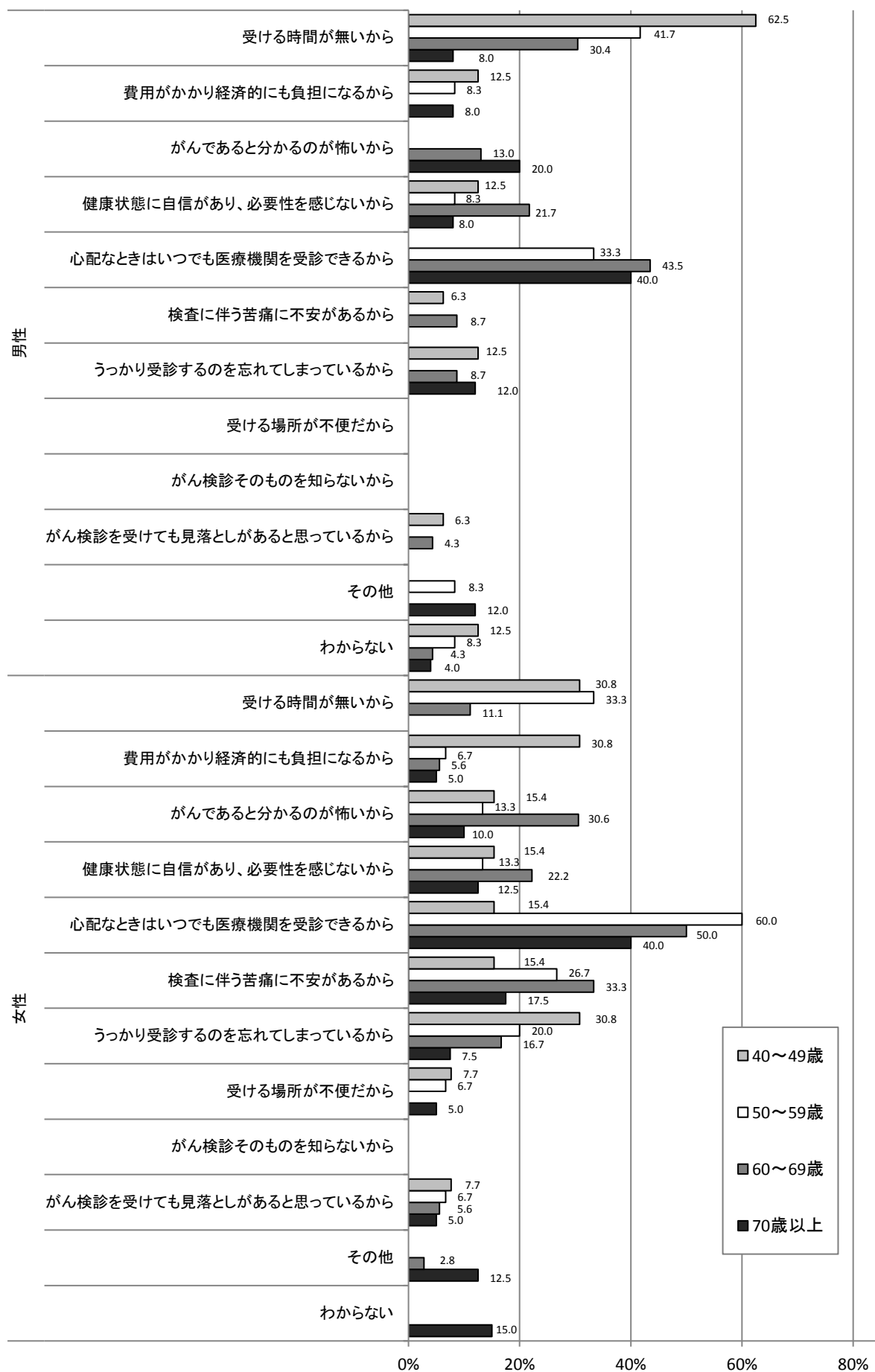


図 2-4-73 がん検診未受診の理由（40 歳以上、性別・年齢階級別、がん検診を受診していないと回答した者のみ、複数回答）



9) 地域のつながり

地域の人々はお互い助け合っていると思っている者は、男性 49.3%、女性 54.6%である。男性の20歳代及び30歳代、女性の20歳代で割合が低い。

地域の人々は信頼できていると思っている者は、男性 46.7%、女性 56.6%である。男性の20歳代～40歳代、女性の20歳代及び30歳代で割合が低い。

地域の人々はお互いあいさつをしていると思っている者は、男性 72.6%、女性 82.7%である。女性の15～19歳の割合が特に低い (53.9%)。

地域で問題が生じた場合、力を合わせて解決しようと思っている者は、男性 48.7%、女性 53.4%である。男性の30歳代、女性の20歳代の割合が特に低い。

図 2-4-74 住んでいる地域の人々は、お互いに助け合っている (15歳以上、性別・年齢階級別)

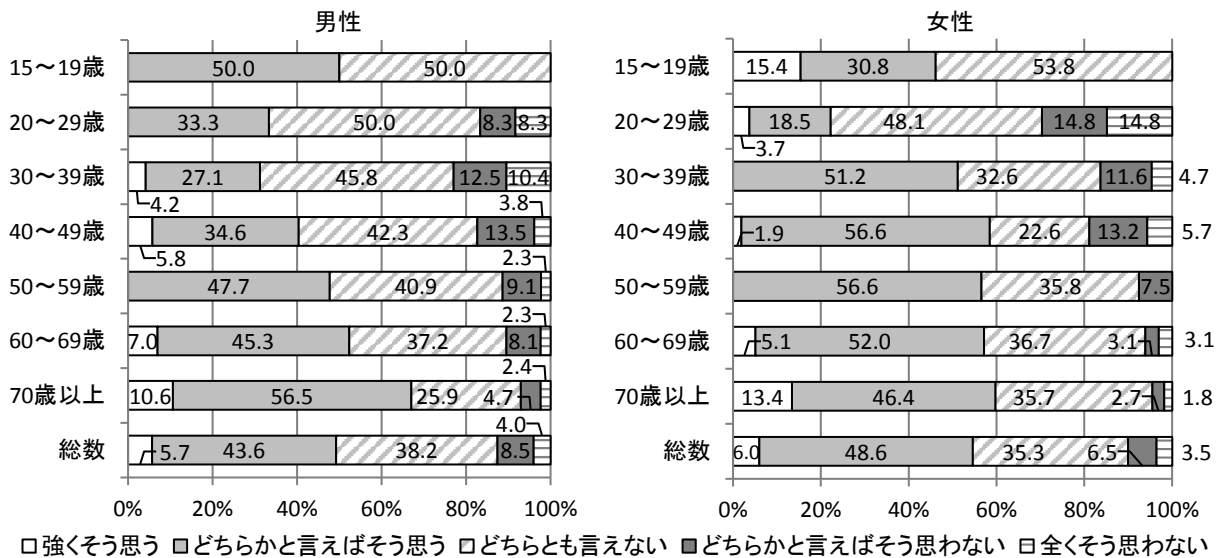


図 2-4-75 住んでいる地域の人々は信頼できる (15歳以上、性別・年齢階級別)

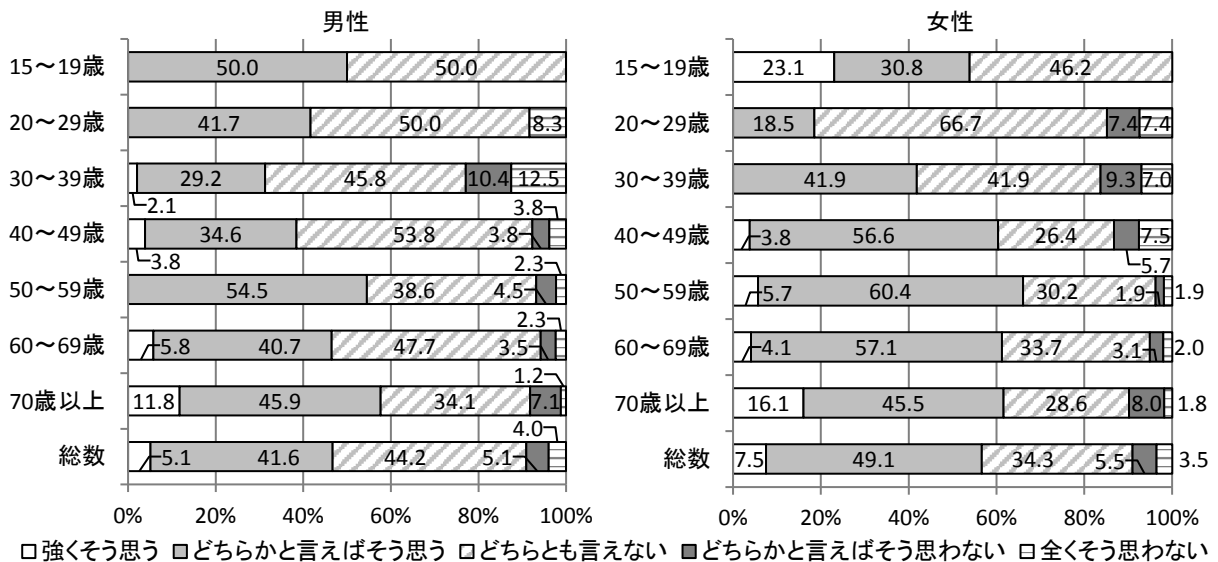


図 2-4-76 住んでいる地域の人々は、お互いにあいさつをしている（15歳以上、性別・年齢階級別）

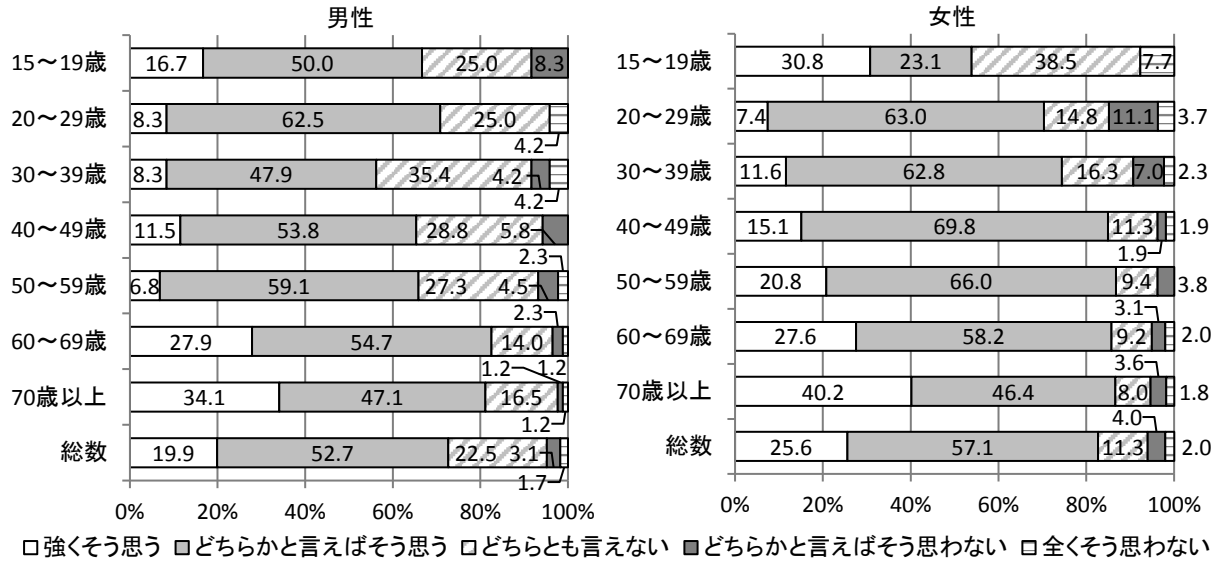
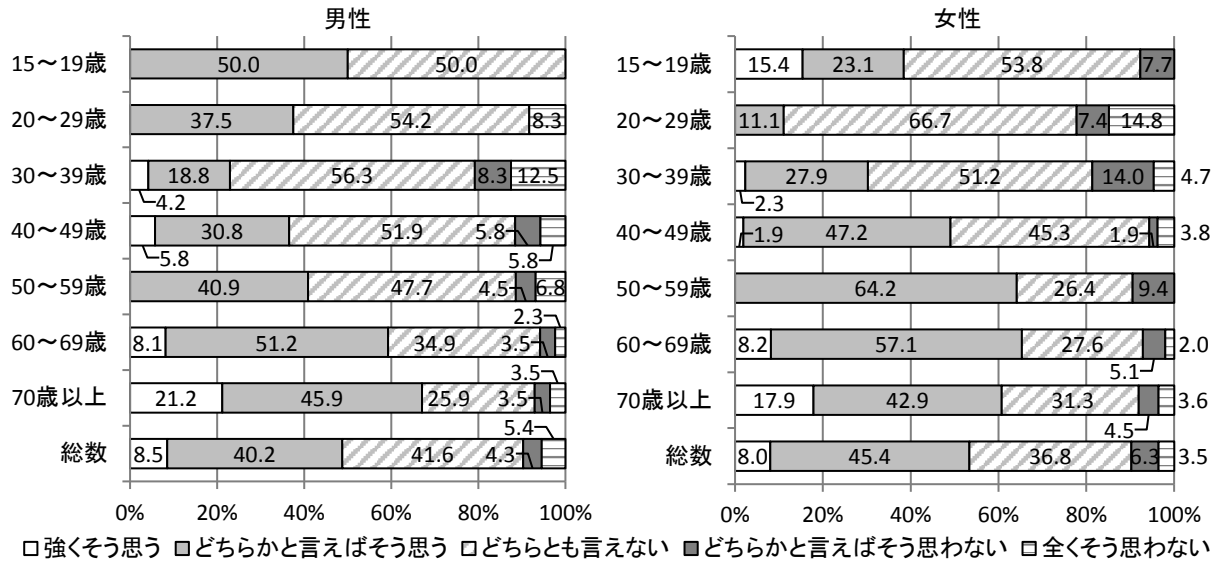


図 2-4-77 住んでいる地域で問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとする（15歳以上、性別・年齢階級別）





## 10) 生活の質 (QOL)

### 健康関連 QOL

健康関連 QOL スコアは、男性の 15～19 歳及び 20 歳代～60 歳代、女性の 20 歳代、30 歳代及び 50 歳代で 0.9 を超えており、年代が上がるほど低下し、70 歳以上で著しい。前回調査（平成 23 年）との比較では、男性ではほぼ同じであったのに対し、女性では 15～19 歳を除き低下している。

図 2-4-78 健康関連 QOL 平均（性別）

